

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

平成28年3月10日（木）、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、隈丸優次大使と被供与団体3団体（バタンバン州水資源気象局、プレアビヒア州農業局、スバイリエン州水資源気象局）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。

バタンバン州水資源気象局が実施する案件では、ヨーティア灌漑施設の通水機能改善のために二次水路（1,400m）を改修し、取水口（一基）、調整堰（一基）を建設する予定です。本事業により、対象地域内の約700名が農業用水を安定的に利用できることが期待されます。



また、プレアビヒア州農業局が実施する案件では、プレアビヒア州の3農協において、農業生産性と農産品の品質向上のため、農作物や資機材の保管等に用いる農協センターを建設するとともに、米の乾燥機や精米機、脱豆機等の農業機材を整備します。3農協の組合員（約880名）の農作業の効率化ならびに、農産品の品質管理が容易になることが期待されます。

スバイリエン州水資源気象局が実施する案件では、トムノップロ灌漑施設の通水機能の改善のため、既存水路（1,420m）、取水堰（一基）を改修することで、地域住民約1,670名が農業用水を安定的に利用できることが期待されます。



式典では、隈丸大使がスピーチを行い、被供与団体と地域住民によって施設が適切に維持管理され、今回の支援が末永くカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益するとともに、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、地域住民の手によってこれらの施設を維持していくことを約束しました。

